



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

日野市の台風19号への対応について

～日野市「台風19号対応概要（第1報）」より～

11月27日、日野市から「台風19号対応概要（第1報）」が議員に配布されました。その中から、当日日野市が行った対応の一部をご紹介します。

《被害の概要》

10月12日早朝から13日未明にかけて、台風19号は日野市にも大きな影響を及ぼし、死者1名（多摩川河川敷生活者）、床上浸水1棟、床下浸水15棟、下水管吹き出し1か所、道路冠水数か所、日野橋橋脚沈下通行不能の被害をもたらした。（写真右）



《避難情報の発令経過》

12日8時に避難準備、高齢者等避難開始を発令、9時に浅川流域の浸水危険区域に居住している約11,000世帯、27,000人の住民に対し避難勧告を発令、14時にさらに氾濫の危険が迫った

め、避難指示を発令した。

16時57分の土砂災害警戒情報の発表に伴い、17時に土砂災害警戒地域に居住している住民に対し避難勧告を発令した。

《浅川越水の可能性への対応》

16時、京浜河川事務所から浅川の滝合橋付近の3か所で越水の可能性があるとの連絡があり、滝合橋左岸は、京浜河川事務所が1トン土のうを設置し対応した。

滝合橋右岸の2か所については、16時

10分から消防団、日野消防署、道路課が土のう設置を開始したが、急激に水位が上昇し作業を続けることが困難となったため、18時頃作業を中断し監視活動に移行した。

《避難所開設と運営》

当初、市の全指定避難所26か所を開設する予定であったが、浅川、多摩川の氾濫の可能性が高いことから、風水害時の指定避難所17カ所のみを開設した。

避難所には2名から3名の職員を配置し

たが、避難者の数が増大したため、全ての避難所で職員の数が不足、急きょ各対策本部に応援を依頼し、増員をはかった。

また、各避難所には要配慮者への対応のための思いやりスペースを設置した。

《災害時要支援者への対応》

担当部署は、ハザードマップに基づき、特に危険な個所（床以上の浸水）に居住しておられる要支援者から優先的に個別に電話連絡を行い対応した。

避難に支援が必要な要支援者は、職員が車両で指定避難所もしくは福祉避難所に移

送し、車いすなどでの避難が必要な要支援者については、社会福祉協議会から車いす対応可能な車両の支援を受け、協定している福祉避難所等へ移送した。

また、2階への避難を希望された要支援者については、職員が訪問し、支援した。

住民参加で被害や避難の実態を把握・検証を

日本共産党市議団は、日野市に対して、台風19号による被害や避難の実態を住民参加で全面的に把握・検証し、今後の対策に活かすよう求めています。

また、浅川の越水・氾濫を防止する根本

的な治水対策や、丘陵地など土砂災害警戒区域における災害防止策と乱開発の規制といった、実効性のある予防対策に取り組むことを議会で提案しています。

畑だより・・・

9月に植えた苗に、小さなブロッコリーができてきました
まだ「げんこつ」くらいの大きさです
台風で倒されたネギも、元気に育っています
寒さが増してくると、甘味がぐっと増します

